

若竹

第八十四号



大東亜戦争終戦80周年
愛媛県人戦没者慰霊祭

愛媛県神道青年会

事務局 〒793-0072

愛媛県西条市氷見乙1345-1 石岡神社 内

TEL 0897-57-9990 FAX 0897-57-7526

URL <https://www.ehimeshinsei.net/>



愛媛県神道青年会

検索



巻頭言

新年度の御挨拶

愛媛県神道青年会

会長 曾我部洋輔



謹んで聖寿の万歳と皇室の弥栄を御慶び申し上げますと共に、各御社頭の御隆昌と皆様の御多幸を心からお祈り申し上げます。常日頃より当会の諸行事に御理解と御協力頂いておりますこと衷心より厚く御礼申し上げます。

この度、野口前会長より指名され臨時総会にて承認頂き、会長の任をお預かりすることになりました、新居支部石鎚神社にて権禰宜を拝命しております曾我部洋輔と申します。浅学非才の為皆様に御迷惑をおかけすることが多々あるかと思いますが、一

期二年何卒宜しくお願い致します。

今期の役員を引き受けて頂きました皆様、二年間宜しく願います。役員数十一名と近年では少ない人数となっておりますが、会員数も年々減少傾向ではあります。少数精鋭にてこのメンバーだからできること、今だからできることがあります。自分の時間を使つての活動ですので、自分がやりたいこと、やってみたいことをやりましょう。長いようで短い二年です、役員会等意見を交わせる場では忌憚なき意見を言つて頂けると嬉しいです。

まず、私のことを知つて頂きたいので、自己紹介をさせて頂きます。昭和六十年十二月五日西条市生まれの三十九歳です。父の仕事の関係で、八幡浜市、東京都品川区、松山市、四国中央市川之江町、四国中央市金生町、兵庫県西宮市、西条市を約三年毎に転動したので、小学校を四校、中学校を二校通いました。今治東高校を卒業、皇學館大学神道学科に入学、無事四年で卒業し、兵庫県神戸市の湊川神社に八年間奉職の後、石鎚神社に戻り現在に至ります。小中高大とサッカー一筋、今は見る専門ですがサッカーのことを話すのが好きなので、サッカー談義をしたい方は是非話しかけてください。

本年終戦八十年を迎え、青年会でも六月十八日に沖繩の平和祈念公園愛媛の塔にて大東亜戦争終戦八十年愛媛県人戦没者慰霊祭を斎行しました。私はこれまで戦争をどこか他人事のように考えていましたが、令和五年二月に愛媛県神道青年会再発足五十周年の記念事業で初めて沖繩を訪れ、

県南部の糸満市荒崎海岸にて戦没者の遺骨収集を行いました。土から遺骨がいくつも出てきたことは私にとつて衝撃でしたが、長年遺骨収集を行っている方から、戦後七十年以上が経過した今でも土に埋もれている遺骨は沢山あり、沖繩の人々が生活しているアスファルトの下にも迎えられてない英霊達が大勢います、と伺いました。今の私たちの生活は、国の為、家族の為に身を捧げた英霊達のお陰であることを改めて感じました。戦争を次の世代に伝える為になんかできるか、と思い、本年どこかで勉強会か、戦争の経験談を聴ける場を設けられないかと考えています。

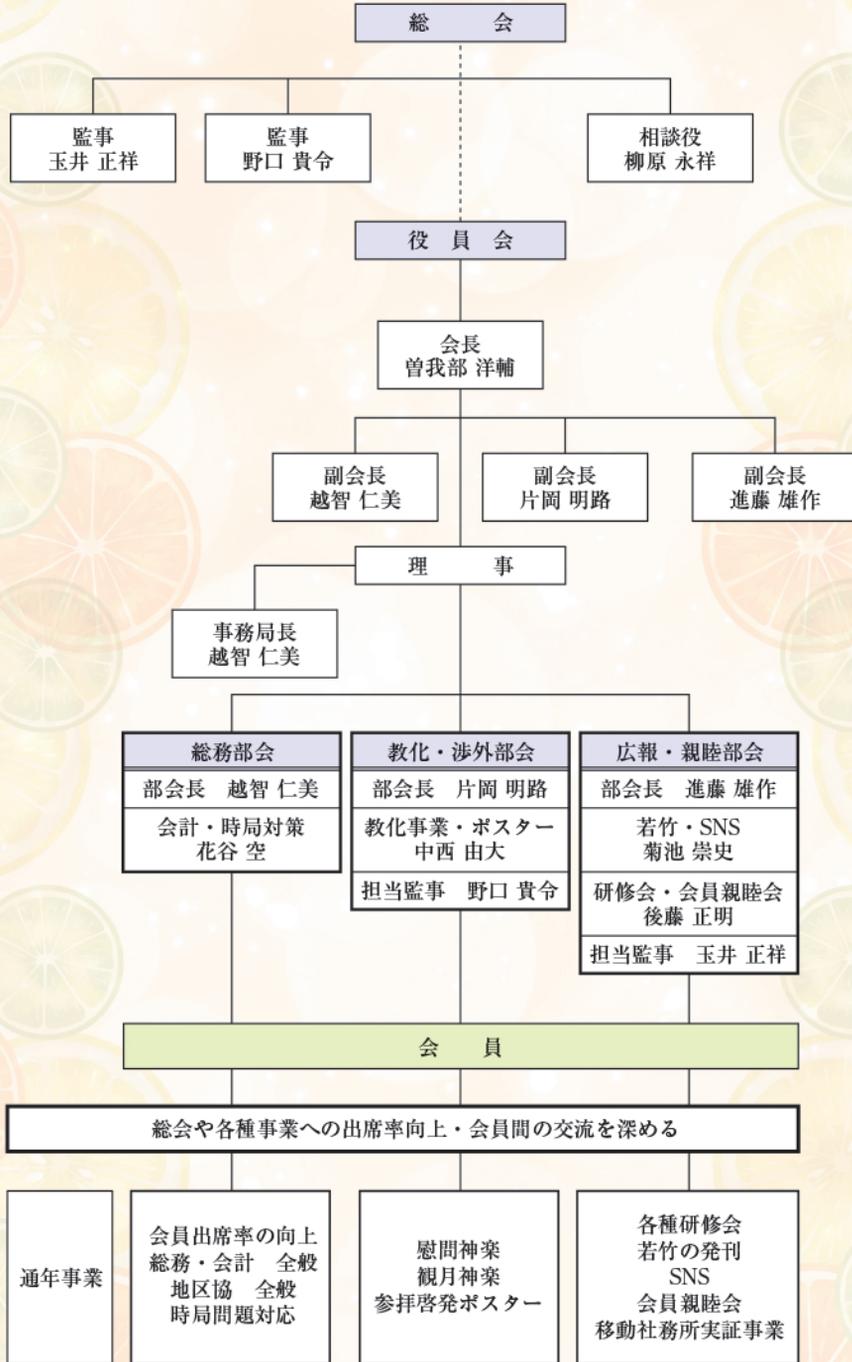
神道青年四国地区協議会で副会長の任をお預かりしておりますので、こちらも少しお伝えさせていただきます。

本年設立三十周年の佳節を迎え、六月四日徳島県神社庁にて奉告祭を斎行しました。今後記念事業として、九月四日には高知県にて記念式典・祝賀会、来年四月二日に香川県レオマワールドにて親睦会、来年九月に愛媛県にて一泊二日の石鎚登山が計画されています。四国四県近いようが他県の同業者と交流する機会がなかなかありませんので、この機会に交流の輪を広げてみませんか。公私御多端のこととは存じますが、ご予約が合います方はご参加頂ければ幸いです。

この二年間、神道青年会員として時局に応じて出来ることを考え行動し、自己研鑽を積む所存です。先輩諸兄をはじめ、各神社宮司様には御指導御鞭撻頂きたくお願い申し上げます、巻頭のご挨拶とさせて頂きます。

新リーダーとして皆を先導できるよう努めます。

令和7年度～令和8年度 愛媛県神道青年会 組織図



協力し合って青年会を盛り上げます。

令和7・8年度 愛媛県神道青年会 役員紹介

学び合い、出会い、
絆を深める — 青年
会は心の成長の場。



相談役 柳原 永祥
厳島神社 / 禰宜

曾我部期を陰ながら
支えられるよう努めて
まいります。



監事 野口 貴令
伊佐爾波神社 / 禰宜

卒会までの2年間、
曾我部会長を支え
ていきます。



監事 玉井 正祥
日招八幡大神社 / 禰宜

今期から初めて理事
を仰せつかりまし
た。力になれるよう
尽力致します。



理事 中西 由大
多賀神社 / 禰宜

本年初めて理事会
計を仰せつかりま
した。役を全うで
きるように頑張り
ます！



理事 花谷 空
風伯神社 / 宮司

今期は神青協の事業
委員もさせていただ
くことになりました。ご
意見お寄せいただけ
ましたら幸いです。



理事 後藤 正明
高忍日賣神社 / 権禰宜

3期目となります
が、型にとらわれ
ずに頑張ります。



理事 菊池 崇史
八幡神社 / 禰宜

最後?の二年間。
明るく楽しい事業
が出来るよう尽力
します！



副会長 進藤 雄作
野坂神社 / 宮司

2期目に副会長兼事務局
長となりましたが、頑
張りたいと思います。



副会長 兼事務局 越智 仁美
石岡神社 / 禰宜

会の皆様と一緒に
良い活動ができる
よう努めたいと思
います。



副会長 片岡 明路
石鎚神社 / 権禰宜

何事も楽しみ
ながら



会長 曾我部 洋輔
石鎚神社 / 権禰宜

新役員も加わり全身全霊をかけてがんばります。

臨時総会及び 新年研修会・互例会



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
松山市 伊豫豆比古命神社
権禰宜 木挽 弘基

去る令和七年一月二十二日(水)午後四時、道後にきたつ会館に於きまして、野口貴令会長以下十四名の出席のもと、愛媛県神道青年会臨時総会が開催されました。

野口会長の挨拶の後、議長の出発が行われ、次いで議事に沿い議事採択・議案についての審議が行われました。

議案の一つとして「任期満了に伴う役員改選の件」が審議され、令和七年度の次期会長として石鎚神社権禰宜の曾我部洋輔氏



強気意志の引継ぎ



全員襟を正して臨みました

を始めとする十一名の役員が選出されました。全ての議事に於いて参加者の異議なく全件承認の上、総会は円滑に進行され閉会となりました。

同日、午後五時から新年研修会が行われました。講師として税理士法人諸井会計から佐保新先生に「宗教法人としての今後の経営について」と題し、ご講義いただきました。神社が抱えている課題を明確化し、民間企業が行う経営策や経営計画、財務諸表について分かりやすく解説していただき、講義の最後には実際に自社の経営計画の作成をして課題を抽出する作業を行いました。



講師の佐保氏



経験のない講習会で真剣に学んでいます

また、同所にて愛媛県神社庁 副庁長 曾我部昭一郎様をはじめとする六名の御来賓の方々にも御臨席を賜り、新年互礼会が

開催されました。参加した会員同士で、新年の挨拶の機会を含めた和やかな雰囲気の中で親睦を深めることができました。

昭和三十年頃、神社は戦後の地域社会の拠点として機能し、約十一万社あったと言われていますが、令和二年、神社は約八万社まで衰退しました。その背景には人口減少・高齢化による氏子数の減少や信仰心の希薄化、後継者不足など年々と深刻化するものばかりです。

私たち神職はこの神道という日本古来の素晴らしい宗教を次の世代に繋げていく。そのためには何が必要なのか、問題点はどこにあるのか、解決策はあるのか。今回の新年研修会で佐保先生のお話を聞き、数十年・数百年先に神社の姿はどうあるべきなのかを見据えて神社経営していく。その必要性を改めて感じた次第です。

年が明け、皆様におきましては指先が悴み寝る間もない程多忙な日々を過ごされているかと拝察いたします。今年には乙巳の年です。この年は「努力を重ね、物事を安定させていく」とされています。

私も神道青年会の一員として、微力ながらも貢献したいと強く思います。日々、全身全霊で神明奉仕に勤しみ励みたいと思っておりますので、これからの何卒よろしくお願いたします。

新たな学びとなりすばらしい研修会でした。



和気あいあいとそれぞれ親睦を深めました



ワクワクドキドキの始まり

令和七年一月二十七日から二十八日の二日間にかけて東京への研修旅行が実施されました。七名の参加のもと、卒業される先輩方への慰労と、神職としての教養を深める素晴らしい研修旅行となりました。

二十七日の早朝、松山空港を発ち羽田空港に到着し、初めに、芝大神宮にて参拝をしました。周りにはビルが立ち並んでいる中でも境内には緑も見られ、荘厳な雰囲気のあるお社でした。



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
松山市 多賀神社
禰 宜 中西 由大

東京研修旅行

浅草寺参拝の後、浅草神社へ参拝に参りました。残念なことに浅草寺に比べると参拝の方は少なかったですが、それでも境内は賑わっておりました。境内の清掃等丁



その後、ホテルへ荷物を預け、ホルタナに乗り隅田川を遡上しながら浅草までクルージング兼移動をしました。船上では両サイドに圧倒的ビル群を眺めながら、歴史のある橋の下を通り東京の歴史の変遷を感じながら移動することができました。浅草に到着してからは、沢山の海外旅行者の中をかき分けようやく浅草寺雷門に到達しました。参道も人で溢れかえっていましたが、愛媛県内ではあまり経験できる光景ではないので、良い経験として観光をしました。御本堂付近も沢山の人がいましたが、浅草寺の造りや授与所等、参加者一同学びとなったことが多々あったことと存じます。

寧にされており、人ごみの中ですが、清々しい気持ちで参拝することができました。次にアサヒビールの本社ビルを近くで拝見した後に、亀戸天神社へと移動しました。鳥居をくぐり初めに目に飛び込んだのは沢山の藤棚と梅の木でした。季節的にもまだ開花の時期ではありませんでしたが、満開になると壮大な景観になることを想像しながら御社殿へと歩みを進め正式参拝をしました。正式参拝後、大鳥居宮司様より亀戸天神社の由緒やお祭りについて説明を受け亀戸天神社の歴史を学ぶことができました。



梅まつりや藤まつりの季節に参拝すると、また違った神社の姿を見られると思います。境内の様子や大鳥居宮司様のお話等、参加者一同自社に持ち帰り社務に活かすことができているのではないかと思います。

亀戸天神社での参拝後は、終始和やかな雰囲気でもんじゃ焼きに舌鼓を打ち、参加者の親睦を深めて一日目を終えました。

二日目は朝から豊洲市場の見学に行き、朝食をとりました。チームラボプラネッツ TOKYOには残念ながら入ることができませんでしたが、見聞を広げる良い豊洲観光となりました。

その後は、小石川大神宮を参拝しました。東京ドームすぐ近くの立地で境内整備も綺麗にされている趣のあるお社でした。残念ながら一月末をもって境内での祭祀を終焉されることが決定しており、一同名残惜しい気持ちで参拝したと存じます。参拝後は新宿へと場所を移し昼食後、ルミネ the よしもとにてお笑いライブを拝見しました。画面越しでは伝わらない臨場感や迫力を感じられるとても充実した経験となりました。その後はすぐ羽田空港へと向かい無



楽しい研修でした♪

事愛媛に帰着しました。

二日間の東京研修旅行で、神社仏閣をはじめ様々な所へ行き見聞を広げることができました。その土地その場所での歴史や文化、海外からの旅行者への対応等、考えさせられることが多々ありました。これらの経験を、神職としての行いに役立てていこうと思います。また、卒会される先輩方にも大変満足していただいた様子で、有意義な研修旅行になりました。今後も愛媛県神道青年会を築いて来られた先輩方の意志を継ぎ伝統を守っていききたいと思えます。

楽しい研修で卒会者を送り出すことができました。

令和七年度 定時総会・懇親会



【報告者】
愛媛県神道青年会 会員
松山市 湊三嶋大明神社
榎宜 渡部 翔大

去る六月六日(金)、午後五時よりえひめ共済会館に於いて、第五十四回定時総会が開催されました。

定時総会では、進藤副会長の開会の辞の後、神宮遥拝、国歌斉唱に続き、野口監事の先導により敬神生活の綱領を唱和しました。その後、曾我部会長による会長挨拶が行われました。

次に長曾我部会長が議長に選出され、議事録署名人選出の後、令和六年度会務報告、令和六年度会計報告、令和六年度監査報告、令和七年度活動計画案、令和七年度予算案、これらの議案が各担当役員より順次報告審議されました。全議案が承認され議案審議は終了しました。

次に、神道青年の歌、美はしき山河を斉唱しました。終わりに玉井監事先導のもと聖寿萬歳を声高らかに奉唱し、進藤副会長の



厳肅な会となりました。



責任をもって頑張ります。

閉会の辞により定時総会は滞り無く閉会となりました。また、新理事委嘱状伝達式にて各新役員に委嘱状が授与されました。

定時総会の後は同会館にて懇親会が行われました。御来賓として、愛媛県神社庁より森正康副庁長をはじめ、青年会OBの方々に御臨席を賜りました。始めに曾我部会長からの挨拶があり、御来賓を代表して森正康副庁長より御祝辞を戴き、温かく胸に刺さる御言葉に会員一同耳を傾けました。

次に、乾杯の発声と共に懇親会が始まり参加者は料理に舌鼓をうちつつ歓談の輪が広がりました。



会途中には、新入会員挨拶、新役員挨拶があり皆それぞれの思いを言葉にしてみました。最後まで各テーブルから談笑する声や笑顔の絶えない懇親会でした。



新たな門出の始まりです。

令和六年度 会務報告

令和六年

起 令和六年 四月 一日
至 令和七年 三月三十一日

四月 十二日 第一回 役員会 **【ウェブ】**

二十六日 神道青年四国地区協議会

第一回 役員会

【ウェブ】

五月 十七日 令和五年度監査会 **【湯神社】**

二十二日 第二回 役員会 **【ウェブ】**

二十七日 第五十三回定時総会・懇親会 **【リジエール松山】**

二十八日 神道青年全国協議会

二十九日 巫女のための神宮研修会 **【三重県 神宮】**

六月 十三日 神道青年四国地区協議会

第三十回定例総会研修会

【徳島県 ワシントンホテルプラザ】

十七日 第三回 役員会 **【ウェブ】**

二十六日 令和六年能登半島地震

復興支援事業 **【石川県 重蔵神社】**

二十七日 会報「若竹・第八十二号」発刊

七月 一日 第四回 役員会 **【ウェブ】**

十日 神道青年四国地区協議会

第二回 役員会 **【ウェブ】**

二十二日 神道青年全国協議会

二十三日 令和六年度 夏期セミナー **【神社本庁】**

九月 十二日 参拝啓発ポスター発送作業 **【愛媛県神社庁】**

十三日 神道青年四国地区協議会

第三回 役員会 **【香川県 坂出市万葉会館】**

同日 第二十四回神道行法錬成会 **【香川県 沙弥島海水浴場】**

二十九日 令和六年度研修事業 雅楽研修会 **【三津巖島神社】**

十月 二十二日 第五回 役員会 **【ウェブ】**

三十日 神道青年四国地区協議会

臨時ウェブ会議

【ウェブ】

十一月 二十一日 第六回 役員会 **【ウェブ】**

十二月 十日 神道青年四国地区協議会

第四回 役員会 **【高知県 セリーズ】**

顧問会 **【高知県 大名】**

令和七年

一月 一日 会報「若竹・第八十三号」発刊

二十二日 第七回 役員会 **【湯神社】**

二十七日 臨時総会、新年研修会並び互礼会 **【にぎたつ会館】**

二十八日 研修旅行 **【東京都】**

二月 二十八日 神道青年四国地区協議会

臨時ウェブ会議 **【ウェブ】**

三月 二十一日 第八回 役員会 **【ウェブ】**

十八日 神道青年全国協議会

十九日 令和六年度 神宮研修会 **【三重県 神宮】**

一年間ありがとうございました。

愛媛県神道青年会 令和六年度一般会計歳入歳出決算書

自 令和6年4月1日 至 令和7年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	600,000	462,000	△ 138,000	年会費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,500,000	1,570,000	70,000	県内支部・神社・神職寄付金・祝金
4 雑 収 入	5,290	500,000	494,710	特別会計からの繰入金・預金利子他
5 繰 越 金	424,710	424,710	0	令和5年度より
歳入合計	2,730,000	3,156,710	426,710	

歳出の部

単位：円

項目	本年度予算額	本年度決算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	400,000	406,133	6,133	定時総会・役員会・新年互礼会・地区協役員会・監査会他・グループウェア契約料
2 研 修 教 化	400,000	470,000	70,000	雅楽研修会・新年研修会・研修旅行・各種研修会参加助成他
3 事 業 費	500,000	660,225	160,225	能登被災神社復興支援事業・参拝啓発ポスター頒布事業・HP管理費
4 広 報 費	350,000	329,725	△ 20,275	若竹82号/83号作製費及び発送費
5 事 務 費	150,000	105,179	△ 44,821	事務用品・寄付金其の他振替手数料
6 備 品 費	10,000	0	△ 10,000	
7 交 通 費	550,000	480,000	△ 70,000	神青協定例総会・臨時総会・神青協出向役員旅費補助・会長手当
8 慶 弔 費	50,000	2,182	△ 47,818	慶弔金・電報代
9 分 担 費	300,000	288,000	△ 12,000	神青協及び地区協拠出金・各種友好団体年会費
10 雑 支 出	10,000	0	△ 10,000	特別会計積立他
11 予 備 費	10,000	0	△ 10,000	
歳出合計	2,730,000	2,741,444	11,444	

歳入合計 ￥3,156,710 歳出合計 ￥2,741,444 差引残高 ￥415,266

愛媛県神道青年会 会長 野口貴令 提出

令和7年5月27日

愛媛県神道青年会 令和六年度特別会計（基金） 北伊予郵便局

単位：円

項目	取 入	支 出	付 記
通常貯金	1,712,208		令和5年度繰越金
繰 入 金	227		利子
繰 出 金		500,000	令和6年度通常会計へ繰出、福島・能登復興支援活動
合 計	1,712,435	500,000	

差引残高 ￥1,212,435

愛媛県神道青年会 会長 野口貴令 提出

令和7年5月27日

愛媛県神道青年会 令和七年度一般会計歳入歳出予算書

自 令和7年4月1日 至 令和8年3月31日

歳入の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 費	600,000	690,000	90,000	年会費、定例総会懇親会、新年互礼会参加費、大東軍戦争終戦80周年参加費
2 助 成 金	200,000	200,000	0	愛媛県神社庁より
3 寄 付 金	1,500,000	1,500,000	0	県内支部・神社・神職寄付金
4 雑 収 入	5,290	4,734	△ 556	全国協議会夏期セミナー参加費返金
5 繰 越 金	424,710	415,266	△ 9,444	令和6年度より
歳入合計	2,730,000	2,810,000	80,000	

歳出の部

単位：円

項目	前年度予算額	本年度予算額	増減(△減)	付 記
1 会 議 費	400,000	450,000	50,000	定時総会・新年研修会・互礼会会場費・四国地区協議会参加費・サークルスクエア年間契約料
2 研 修 教 化	400,000	400,000	0	神青協行事参加費・研修会講師謝礼・他県単体会周年式典参加費
3 事 業 費	500,000	510,000	10,000	参拝啓発ポスター頒布事業・終戦80周年沖繩慰霊祭・サーバーレンタル代
4 広 報 費	350,000	350,000	0	若竹84号/85号作製費及び発送費・HP管理費
5 事 務 費	150,000	150,000	0	事務用品・寄付金其他振替手数料・事務局長、会計手当
6 備 品 費	10,000	10,000	0	
7 交 通 費	550,000	560,000	10,000	神青協定例総会・神青協出向役員旅費補助・会長手当
8 慶 弔 費	50,000	50,000	0	慶弔金・電報代
9 分 担 費	300,000	300,000	0	神青協及び地区協賛出金・各種友好団体年会費
10 雑 支 出	10,000	20,000	10,000	特別会計入金
11 予 備 費	10,000	10,000	0	
歳出合計	2,730,000	2,810,000	80,000	

歳入合計 ￥2,810,000 歳出合計 ￥2,810,000 差引残高 ￥0

愛媛県神道青年会 会長 曾我部洋輔 提出

令和7年6月6日

御協力いただき感謝申し上げます。

令和七年度 活動計画

令和七年

四月	二十三日	第一回 役員会	【徳島県 神社庁】
	二十五日	神道青年四国地区協議会	
		第一回 役員会	
五月	二十七日	令和六年度監査会	【高知県 神社庁】
	三十一日	第二回 役員会	【ウエブ】
六月	四日	神道青年四国地区協議会	
		設立三十周年奉告祭	
	五日	第二回役員会	【徳島県 神社庁】
	六日	第五十四回定時総会・懇親会	【えひめ共済会館】
	十七日	大東亜戦争終戦八十周年	
	十九日	愛媛県人戦没者慰霊祭	【沖繩県 平和祈念公園】
	二十四日	第三回 役員会	【ウエブ】
七月	一日	会報「若竹」第八十四号「発刊	
		第四回 役員会	【未定】
八月	二十一日	神道青年全国協議会	
	二十二日	令和七年度 夏期セミナー	【靖國神社】
	四日	神道青年四国地区協議会	
		第三十一回定例総会	
		設立三十周年記念式典	【高知県 セリーズ】
		神道青年四国地区協議会	【未定】
九月		第三回 役員会	

令和八年

十月		参拝啓発ポスター発送作業	【未定】
十一月		第五回 役員会	【未定】
		第六回 役員会	【未定】
十二月	十日	第七回 役員会	【未定】
		神道青年四国地区協議会顧問会	【愛媛県】
		第四回 役員会	【未定】
一月	一日	会報「若竹」第八十五号「発刊	
		第八回 役員会	【未定】
		新年研修会、互礼会	【未定】
二月		第九回 役員会	【未定】
三月		第十回 役員会	【未定】
	二十四日	神道青年全国協議会	
	二十五日	令和七年度 中央研修会	【奈良県】
		* (日時未定)	
		会員親睦研修会・交流会	
		移動社務所実証事業	
		観月神楽	
		慰問神楽	
		* 時局問題への即応	

●その他、日程等は役員会にて議案審議

これからもどしどし活動していきます。

令和六年度 助成寄付御芳名

※順不同にて掲載させて頂いております

御助成

金 貳拾萬圓也

愛媛県神社庁 殿

御寄付

【東予】

金 壹拾萬圓也

石鎚神社

武智 正人 殿

金 伍萬圓也

大山祇神社

三島 安詔 殿

一宮神社

金 參萬圓也

伊曾乃神社

矢野 有紀 殿

吹揚神社

金 壹萬圓也

神社庁

堀川 修巧 殿

三島神社

磐座八幡大神社

田窪 大朗 殿

嘉母神社

三島神社

新居 支部 殿

村山神社

三島神社

真鍋 靖 殿

高浜八幡神社

三嶋神社

藤原 修次 殿

橋新宮神社

周敷神社

石川 雅司郎 殿

原八幡大神社

玉生八幡神社

三嶋神社

潮早神社

別宮大山祇神社

大西神社

網敷天満神社

綾延神社

矢矧神社

諸山積大明神社

姫坂神社

八幡大神社

荒木八幡大神

金 伍仟圓也

奈良原神社

金生八幡宮

銚前神社

生名八幡神社

保内八幡神社

橋八幡大神社

徳威神社

宮内神社

千足神社

鶴岡八幡神社

瀧神社

熊野三所神社

金 參仟圓也

八幡神社

多伎神社

一之宮神社

矢野 敬陽 殿

平田 彰 殿

堀川 泰規 殿

浅海 宜英 殿

高田 康成 殿

及川 徹也 殿

菅 利之 殿

森 正康 殿

田窪 伸吉 殿

藤原 正直 殿

垂水 晋介 殿

安藤 史典 殿

松本 恒夫 殿

竹之内紀久江 殿

合田 正士 殿

矢野 哲夫 殿

吉田 浩喜 殿

中島佳代子 殿

馬越 將文 殿

桐野 正信 殿

真鍋 淑江 殿

烏谷 康恵 殿

矢野 裕房 殿

近藤 晃司 殿

熊本 和仁 殿

竹内 啓 殿

原田 悌次 殿

越智美香子 殿

【中予】

金 壹拾萬圓也

伊豫豆比古命神社

金 參萬壹仟圓也

神社庁

金 參萬圓也

愛媛縣護國神社

伊佐爾波神社

金 貳萬圓也

神社庁

日招八幡大神社

嚴島神社

高忍日賣神社

金 壹萬圓也

三嶋大明神社

桑原八幡神社

雄郡神社

忽那島八幡宮

勝岡八幡神社

金刀比羅神社

三島神社

波賀部神社

金刀比羅神社

三島神社

生石八幡神社

八幡神社

還熊八幡神社

湊三嶋大明神社

井手神社

東雲神社

長嘗我部昭一郎 殿

伊予 支部 殿

額田 照彦 殿

野口光比古 殿

松山 支部 殿

玉井 正保 殿

柳原 幸 殿

後藤 正宜 殿

久万 支部 殿

大内 正人 殿

石丸 剛司 殿

高市 誠司 殿

大宮 信篤 殿

武智 国史 殿

山下 幸志 殿

阿部 智 殿

武智 彰宏 殿

大谷 伸二 殿

高市 誠 殿

中西 祐司 殿

小野 哲也 殿

玉井 次明 殿

渡部 定詔 殿

横田 朱美 殿

田内 逸知 殿

青年会活動に御理解戴き、過分なる御厚意を頂戴致しましたこと、重ねて厚く御礼申し上げます。役員・会員一同

日尾八幡神社	三輪田	純殿
客王神社	二神	良昌殿
船川神社	武智	和剛殿
高縄神社	玉井	利幸殿
高縄神社	正岡	重則殿
阿沼美神社	善家	祐二殿
素鷲神社	水地	明彦殿
金、伍阡圓也	別府	頼房殿
徳威三嶋宮	武智	成保殿
天満神社	武智	佳子殿
諸山積神社	権名津	朗殿
三島神社	芥川	幹殿
三島神社	高市	俊次殿
三島神社	井上	貞人殿
榊玉比賣命神社	武市	盛幸殿
伊曾能神社	桑原	浅雄殿
八幡神社	権名津	卓久殿
正八幡神社	玉井	秀行殿
三島神社	都子野	清明殿
高家八幡神社	森	東洋司殿
五柱神社	佐伯	敦殿
惣河内神社	田内	一弘殿
朝日八幡神社	神山	春明殿
稲荷神社	星野	康夫殿
伊豫稲荷神社		

金、貳萬圓也	常磐井守道殿
八幡神社	八西支部八幡分會殿
神社庁	都築芳憲殿
八坂神社	
金、壹萬圓也	井上正博殿
大元神社	森本隆夫殿
總社大明神社	吉田充邦殿
三島神社	和氣利雄殿
三嶋神社	南宇和郡支部殿
神社庁	一宮康人殿
三島神社	梅川俊一殿
三柱神社	青木武司殿
黄幡神社	岡本荒侍殿
天満神社	岡本二郎殿
満穂神社	
金、伍阡圓也	三瀬高德殿
三島神社	菊池克幸殿
鹿島神社	佐々木文雄殿
太郎大明神社	矢野良平殿
宇都宮神社	入江伸明殿
三島神社	赤松千明殿
由良神社	菊池博史殿
八幡神社	寺谷秀彦殿
岡森神社	上甲一則殿
賀茂神社	宮本稚秋殿
天満神社	葉師神敬篤殿
天満神社	
湯嶋天神社	菊池國興殿
三島神社	横山和郎殿

第五十三回定時総会 御祝

金、壹萬伍阡圓也	長曾我部昭一郎殿
伊豫豆比古命神社	
金、壹萬圓也	愛媛県神社庁殿
嚴島神社	柳原幸殿
神社庁	松山支部殿
湊三嶋大明神社	渡部定詔殿
高忍日賣神社	後藤正宜殿
朝日八幡神社	田内一弘殿

新年互礼会 御祝

金、壹萬圓也	愛媛県神社庁殿
神社庁	松山支部殿
湊三島神社	渡部定詔殿
石鎚神社	十亀雅史殿
八幡神社	常磐井守道殿
龍王神社	善家祐二殿
大元神社	井上雅仁殿

御賛同の上御寄付を賜り深謝致します

会長 野口 貴令

各事業に御協力下さいました皆様ありがとうございました。

第七十六回
**神道青年
 全国協議会
 定例総会**



【報告者】
 愛媛県神道青年会 理事
 松前町 高忍日賣神社
 権禰宜 後藤 正明

四月二十二日(火)、
 神社本庁大講堂におい
 て神道青年全国協議会
 の第七十六回定例総会
 が開催されました。

正午から開会式が行
 われ、大鳥居良人会長
 の挨拶後、来賓の田中
 恆清神社本庁総長が祝
 辞を述べられました。
 定例表彰式、感謝状贈
 呈式、続いて議案が審
 議されました。

本年は大鳥居会長以下役員の任期満了に
 伴い、昨年十一月の臨時総会で選出されて
 いた北方宏和新会長(北海道・札幌諏訪神
 社禰宜)をはじめとする新執行部の役員人



事が承認され、北方新
 体制が発足しました。
 当会出向の柳原相談役
 は、監事に選出されま
 した。

総会後には、終戦
 八十年にあたり、靖國
 神社や旧指定護国神社
 に奉納するための玉串
 料の伝達式が行われ、
 当会もお預かりしまし
 ました。

その後、新役員によ
 る明治神宮正式参拝、
 明治記念館に場所を移
 しての菊波の友垣会が
 開催され、顧問やOB
 の先輩方をはじめ全国
 から百四十名の友垣が
 集い懇親を深め、手を
 携えて神社神道興隆の
 ために尽力していくこ
 とを誓いながら有意義
 な時間を過ごしました。



神道青年全国協議会 第76回定例総会 令和7年4月22日 於 明治神宮

身の引き締まる思いで臨みました。

趣味人

第十七回

神青会員のオフタイム

神道青年会会員の多彩な趣味を紹介するこのコーナー。
 今回紹介するのは進藤副会長。
 最近「映え」を意識した写真撮影にハマっているようなので取材してきました。



愛媛県神道青年会 副会長
 西予市 野坂神社
 宮司 進藤雄作さん

「写真に興味を持ったきっかけは？」

やはりSNSですね。それもインスタやfbといったメジャーなものではなく、ライダー専用のSNSです。最近は神社のインスタ更新ものんびりやっています。



自宅付近の旧道

「普段から写真を撮る事は多いのですか？」

会社での仕事は工事現場の監督が多いので、カメラマンと言っても過言ではないほどの写真を撮っています。繁忙期には一日で一〇〇枚以上、時には一日三〇〇枚を超える事もありましたが、日々の作業状況を報告する為の写真で、面白味は皆無です。

「カメラへのこだわりは？」

最近スマホのカメラが高機能なので、スマホで十分です。近所のあるカメラマンが「写真はカメラじゃなくてハートで撮るんぞ」と言われていたので、デジカメラや一眼を使わずスマホでの撮影がこだわりになっています。



野坂神社の鳥居と銀杏



花粉症なので春の写真は少なめ(笑)

「どんな写真を撮る事が多いですか？」

ほぼバイクか居酒屋料理です。一人でバイクに乗る時は「映えスポット」を探しに出かけたりします。

「今後の目標は？」

中堅神職研修で一緒だった香川の若手が「地域の人々の写真を使用し、神社のカレンダーを制作して配布している」と紹介されたのを聞いて私もやってみたいと思ひ、パクッ：真似してみようと思ひに企んでいます(笑)

《取材 菊池 崇史》



バイクに跨る越智副会長を撮ってみた

余暇の時間も大切にしていきたいですね♪

青年会御卒業

定時総会に於いて、会則により卒会を迎えられました方々を御紹介いたします。

- 吹揚神社 官司(元会長) 田窪 大朗
- 川上神社 官司(元理事) 野口 秀文
- 宇氣洲神社 権補宜 相原 宗堯
- 生石八幡神社 権補宜 中西 佑季
- 石鏡神社 権補宜 田窪 芳弘
- 高忍日賣神社 権補宜 後藤 蘭

長年に亘り当会の諸活動に御尽力賜りまして誠にありがとうございます。会員一同感謝申し上げます。今後も尚一層の御指導と御鞭撻を賜ります様御願ひ申し上げますと共に益々の御活躍を御祈念申し上げます。

新入会員紹介

- 大島八幡神社 権補宜 矢野 洋
 - 高浜八幡神社 権補宜 亀山 泰磨
 - 大山祇神社 権補宜 柚木 郁彦
 - 伊豫豆比古命神社 権補宜 小野 綜士
 - 日尾八幡神社 権補宜 三輪田 巧也
 - 玉生八幡大神社 権補宜 大西 宏治
 - 玉生八幡大神社 権補宜 溝手 元太
 - 春日神社 権補宜 山下 直人
 - 三島神社 官司 吉田 充慶
- 新しく神職として入会された方です。一緒に愛媛県神道青年会を盛り上げていきましょう!!

御案内

令和七年度 神道青年全国協議会夏期セミナー

主題 いまを生きる
「私たちが受け継ぐ先人のこころ」

期 日 令和七年八月二十一日(木・先負)
八月二十二日(金・仏滅)

会 場 靖國神社 靖國會館
東京都千代田区九段北三一一

参加費 一名 六千円

〔内容〕

第一講 演題 「大東亜戦争終戦八十年に当たり「平和の社」の宮司として 思うこと」
講師 大塚 海夫先生 (靖國神社宮司)

第二講

演題 「英霊と家族の物語 ～今を生きる私たちは 兵士たちの「ゆずり葉」～」
講師 佐波 優子先生 (アナウンサー、戦後問題ジャーナリスト)

第三講

演題 「終戦八十年 世界が見た大東亜戦争の真実」
講師 井上 和彦先生 (ジャーナリスト)

〔締切〕 令和七年七月八日(火・先勝) (厳守)

神道青年四国地区協議会設立三十周年記念式典

期 日 令和七年九月四日(木・先勝)
記念式典 午後三時
講演 午後四時三十分
講師 高知県立歴史民俗資料館 学芸員 梅野 光興先生

会 場 祝賀会 午後六時
シリーズ 三階
高知県高知市高須砂地一五五番地

神道青年四国地区協議会顧問会

期 日 令和七年十二月十日(水曜日・赤口)
午後六時三十分

会 場 助格三番町店
愛媛県松山市三番町二丁目五一四

愛媛の太鼓の動画になります。是非、ご覧になってください。

